

---

## <通訳案内士試験の本質をより深く理解するために>

---

### ●通訳案内士試験事業は、JTB グループが6年連続で受託、実施しています。

2009 年度から 2014 年度までの6年間に渡り、通訳案内士試験事業の運営は、JTB グループの株式会社 ICS コンベンションデザインが、JNTO より受託、実施してきましたが、6年間の受注契約の総額は、3 億 1817 万円で、1年度あたり、5,303 万円となります。通訳案内士試験事業は、表向きは「一般競争入札」方式にはなっていますが、実態は色々な条件を設定した「随意契約」に近いものになっているので、ICS コンベンションデザイン以外の会社が受注することは極めて困難な状態になっています。私自身も、2009年度試験事業に関する「一般競争入札」の説明会に参加しているので、事情はよく分かっているつもりです。普通の感覚からすると、「一般競争入札」で6年連続して同じ会社が受託するということは非常に不自然なことです。発注官庁(この場合は、独立行政法人 JNTO)と癒着関係にある会社が連続して受託することは、よくあることで、珍しいことでもありません。つまり、JTB グループは、JNTO とズブズブの癒着関係にあるということです。

### ●ICS コンベンションデザインによる 2009 年度から 2014 年度までの落札価格と総額

- ・2009 年度、2010 年度通訳案内士試験事業(93,450,000 円)
- ・2011 年度通訳案内士試験事業(56,700,000 円)
- ・2012 年度通訳案内士試験事業(55,650,000 円)
- ・2013 年度通訳案内士試験事業(55,125,000 円)
- ・2014 年度通訳案内士試験事業(57,240,000 円)
- ・6年間の総額:3 億 1817 万円

上記は、JNTOの下記サイトでご確認いただけます。(2014 年度の例)

[http://www.jnto.go.jp/jpn/about\\_us/contracts\\_bids/bid\\_result/bid\\_results\\_2014.html](http://www.jnto.go.jp/jpn/about_us/contracts_bids/bid_result/bid_results_2014.html)

### ●JTB グループが通訳案内士試験を運営するというブラックユーモア

一方で、無資格ガイド(ヤミガイド)を使い、通訳案内士制度を崩壊させることに奔走してきた JTB グループが、他方では、通訳案内士試験事業を受注して、年間 5,300 万円もの売上げを上げているという事実は、ブラックユーモアそのものでして、通訳案内士試験の受験者、合格者を愚弄しているとしか言いようがありません。さらに詳しくは、下記サイト(通訳案内士業界の諸問題)をご覧ください。

<http://blog.goo.ne.jp/gu6970/c/205d9d64395041166aee0c1cfeb425e7>

### ●ヤミガイド110番

業界の健全化のために、ヤミガイドに関する情報をお知らせください。不正、不法行為を天下に公開したいと思います。

件名:ヤミガイド110番

宛先:info@hello.ac

内容:下記を必ず明記してください。

(1)旅行会社(支店)名(電話番号)、担当者名(携帯番号) (2)ツアーの内容:催行月日、訪問場所、できれば旅行日程表 (3)ヤミガイドの氏名、携帯番号

### ●JTB 九州が、ヤミガイドを募集した例

このような動かぬ証拠があれば、是非、ご提供ください。

<http://www.hello.ac/exam/pdf/china.pdf#zoom=100.pdf>

### ●観光庁のアリバイ作りの<口頭での注意処分>

JTB グループと癒着関係にある観光庁は、JTB 九州に対して、アリバイ作りのために、簡単なく口頭での注意処分>でお茶を濁したのみでした。誠に情けない話ですが、カネ儲けのために、官民ともに腐っているのが現状です。

<http://www.recordchina.co.jp/group.php?groupid=40879>